

第67回カレッジ川柳会月報

第六十七回カレッジ川柳会月報(四月例会記録)

日時 .. 令和五年四月二十六日(水) 午後一時〜四時

場所 .. 美浜公民館・第一会議室

講師 .. 佐藤 公江 (千葉県川柳作家連盟理事)

出席者 .. (順不同・敬称略) 清田 アキラ、谷口 勝、

中葉 放 大、中間 孝、松谷 のん紀、両角 節児、

山岸 順、山口 昇柳、黒崎 与三坊、大西 旅人(投句)

課題「沸き返る」互選 佐藤 公江 講評

1点 コロナ開け応援ラッパ甲子園

WBC 女房喜ぶ日本戦

勝つてなお大谷驕ることはせず

超人の規格外れのホームラン

平幕が土俵盛り上げ血が上る

煮えたぎる焦げる味増す老夫婦

2点 万歳三唱こだましている披露宴

大谷の名前連呼の日が続く

冷めやらぬ侍ジャパン大人気

大相撲沸き返り日々今いずこ

バンザイと選挙当選祝賀会

五右衛門も入れぬほどの熱い風呂

のん紀

孝

旅人

勝

アキラ

昇柳

与三坊

節児

節児

孝

孝

与三坊

3点 コロナからオオタニさんのワイドショー

競走馬横一線のゴール前

夜桜へ連発される感嘆符

恐ろしい上司瞬間湯沸かし器

アルバムがああ時のこと語り出す

ラスト種目紅白リレー声囁らす

4点 長電話ケトルの笛がこうるさい

やかんの湯妻の怒りが見えるよう

その昔熱い思いはあつたはず

*

課題「沸き返る」 佐藤 公江 選

〔客〕(順不同)

平幕が土俵盛り上げ血が上る

やかんの湯妻の怒りが見えるよう

夜桜へ連発される感嘆符

五右衛門も入れぬほどの熱い風呂

恐ろしい上司瞬間湯沸かし器

〔人〕万歳三唱こだましている披露宴

〔地〕長電話ケトルの笛がこうるさい

〔天〕村あげて転入家族おもてなし

順

与三坊

順

勝

放 大

のん紀

順

放 大

孝

アキラ

放 大

順

与三坊

勝

与三坊

順

のん紀

第67回カレッジ川柳会月報

例「講師の句」 課題「沸き返る」

激怒した心の隙を狙われる
 たかぶって吠えて失うものばかり
 たぎるもの吐こう吐かねば胃にたまる
 何もかもぶちまけた夜の蒸し暑さ

公江 公江 公江 公江

題「円満」二人選 山岸 順 選

〔秀〕明日もまた旅する仲の心地良さ
 角たてず一身上と書く辞表
 揉め事もムードメーカー孫出番
 控えれば丸く治まる夫婦愛
 二人きて歴史感じる妻の顔
 〔客〕円満な家庭つくれと失敗者
 年の差の貴方慕って共白髪
 傷つけず別れ上手の三枚目
 コロナ去り家族仲良く旅の空
 話し合い笑顔で終わり離婚する
 〔人〕激闘の後は仲良くノーサイド
 〔地〕とんがった友も丸みが出る傘寿
 〔天〕年老いて仏ごころに近づいた

アキラ 与三坊 のん紀 放 大 放 大 孝 孝 のん紀 与三坊 孝 勝 与三坊 与三坊 与三坊 旅 人

〔自句〕 課題「円満」

円満の秘訣はカネにかなわない
 年金の持つ円満の赤い糸
 満面の笑み円満に酔っている

順 順 順

*

課題「円満」二人選 佐藤 公江 選

〔客〕（順不同）

傷つけず別れ上手の三枚目
 話し合い笑顔で終わり離婚する
 とんがった友も丸みが出る傘寿
 理不尽な尖った意見丸く聞く
 激闘の後は仲良くノーサイド
 〔人〕円満の秘訣はカネにかなわない
 〔地〕重箱の隅を突かぬ妻の知恵
 〔天〕角たてず一身上と書く辞表

与三坊 勝 与三坊 勝 与三坊 勝 与三坊 順 放 大 与三坊

例「講師の句」 課題「円満」

見て見ないふりをするのも処世術
 うす味の暮らしに慣れて二人きり
 車間距離とって親子の水入らず
 腹八分今日も不平の無い暮らし

公江 公江 公江 公江

第67回カレッジ川柳会月報

自由吟 佐藤 公江 選

〔客〕女子会のトーン青春呼び戻す 順

この犬も生きた証しかマーキング 放 大

起きて鳴り寝て鳴りニクキ耳鳴りめ 孝

淋しさにナースボタンを押す夜長 勝

ストーリーがスマホの中に潜んでる 与三坊

〔人〕正直に生きて切られたトカゲの尾 順

〔地〕ヒマがあり残り時間のない八十路 与三坊

〔天〕まだいけるタンゴ無理でもフラがある のん紀

お知らせ 次回令和五年五月例会予定

日時…五月二十四日（水）午後一時～四時

場所…美浜公民館・第一会議室

① 互選 課題「積む」三句

② 二人選 課題「あつさり」三句（昇柳選・公江選）

※互選句と二人選句は事務局あて投句願います。

投句締切 五月二十日（土）必着

③ 「自由吟」三句（佐藤公江選）

※例会当日、句箋で投句願います。

♪♪♪

落穂拾いコーナー 消えるのが「惜しい」句は？

四月自由吟 落穂拾い

① 亡き夫のトツクリへ花仏壇へ

② コロナ明け古き仲間とバーベキュー

③ 溜め息を吐くたび目減り吾亦紅

④ 傘隠れ総理の姿見通せぬ

⑤ 過去の恋本で教わる彼岸花

⑥ 食べ放題無理して食べて胃痙攣

⑦ 厄年から誕生日には大師様

⑧ 和短俳遣いも知らず川を詠む

⑨ 駅通路人の多さがコロナ前

⑩ ウクライナ2年目の夜いつ明ける

⑪ 傘寿過ぎ喜寿を迎えた妻介護

⑫ バーゲンの人の波見て船酔いに

⑬ 空模様予報裏切る晴れ女

⑭ 顔見知りマスク外して初対面

⑮ 春つらら散歩ついでに選挙行く

⑯ 百歳の心臓たまに休んでる

⑰ 万葉の郷を旅する歴史館

⑱ 大谷の連呼やまない日が続く

⑲ 野党さん負けて笑うな入れた我

⑳ 桜散り寂しさ残る春の朝

㉑ 最後まで犬の面倒見ると爺

㉒ 街中へのぞき得意なカメラあり

㉓ 植えた歯に肉のご褒美Aランク